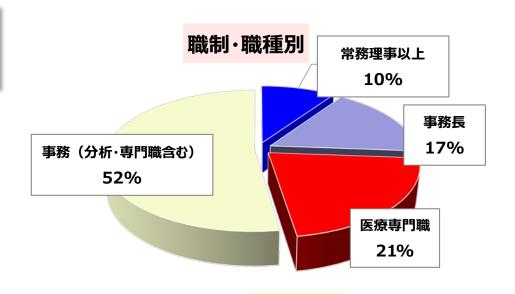
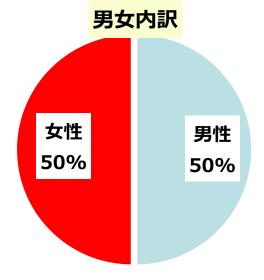
2021年度 レセプト・健診データ分析研究会 実績報告

参加健保

33健保42名 2022年3月現在(2021年度)

日立	三菱	パナソニック					
大和証券グループ	コニカミノルタ	全日本空輸					
オリンパス	ヤマトグループ	小松製作所					
ニチレイ	コニカミノルタ	ボッシュ					
日産自動車	三菱電機	日本航空					
協和キリン	丸井	ジャパンディスプレイ					
ТОТО	SGホールディングスグループ	路宮					
ボッシュ	キリンビール	栗田					
味の素	לבב	シーイーシー					
カシオ	ノバルティス	カシオ					
富士フイルムグループ	博報堂	日本ゼオン					





担当理事、運営委員、アドバイザー (2022年3月)

担当理事 (HP掲載時は氏名を削除します)

担当理事(日立健康保険組合)

同(三菱健康保険組合)

運営委員(9人)

リーダー (パナソニック健康保険組合)

運営委員 (大和証券グループ健康保険組合)

同 (コニカミノルタ健康保険組合)

同 (ヤマトグループ健康保険組合)

同(ニチレイ健康保険組合)

同 (オリンパス健康保険組合)

同 (小松製作所健康保険組合)

同 (日立健康保険組合)

同(全日本空輸健康保険組合)

顧問・アドバイザー

顧問 : (東京大学) 古井先生

アドバイザー : (東京大学) 井出先生、柿沼先生、後藤先生

2021年度 活動内容

方針

- ・保健事業の評価・効果検証に役立つ健診&レセプトデータの分析手法を 共に学び、知識とスキルのレベルアップを図った
- ・自健保にフィードバックできる有意情報の取得

活動の柱

- ①全体テーマ(特定健診リスク5年比較分析&コロナ影響分析[新])
- ②グループワーク〔2021年度は4グループで同テーマ【全体テーマの分析】 結果について新たな視点で分析・検討を行った〕 ※3月に各グループより成果報告会実施

その他

● 「顧問」「アドバイザー」により最新データヘルス関連情報のレクチャーをいただき自健保の保健事業の改善に向けた参考とした。 また、「グループワーク」にも参加いただき分析手法等についてアドバイスいただく。

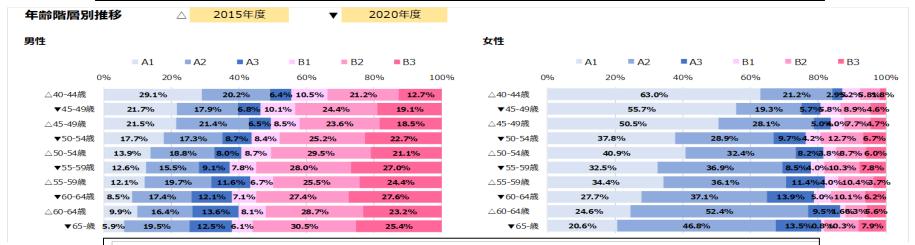
2021年度活動実績

	21/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22/1月	2月	3月
上位イベント 推進する会	21年度計画報告						全国大会 ※研究会 ■ 獨表無■	••••••			
定例会	~31日	24日(木)	中旬	26日(木)	休会	21日(木)	休会	21日(火)	休会	休会	17日(木)
定例会 主要内容	-	データ抽出<作成〃方法説明>の提案・決定 & 全体テーマ:①事務局説明⑥体制・組織・テーマ	_	容改善の検討 ②GW◎全体テーマの活用方法や内デーマの狙い・アウトプットイメーテーマの活用方法や内容を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	-	ての気付き※傾向分析2015⇒2020比較結果∨を見2015⇒2020比較結果∨に診2の15⇒2020比較結果∨に診2の15⇒2020比較結果∨に	_	き※傾向分析 2 G W ® ① で示された全体テーマ ^ フロナ影響分析 > 2 0 1 8 ⇒ 2 0 1 9 : ▼	_ 		明原 事務局より のは を のは を を のは のは のは のは のは のは のは のは のは のは
全体テーマデータ		各健保抽出開始	2014-2019 2015-2020 7/30提出〆切								
古井先生 井出先生 後藤先生 レクチャー(※)	_	井出先生	_	井出先生	-	後藤先生	_	古井先生	-	_	-
基礎知識研修会			健康分布図同年齢 階層別グラフ データ抽出・集計の 基礎	O東 だけ							

2021年度 全体テーマ①経年変化②年齢階層別推移分析

■5歳刻みの年齢階層別健康分布図による経年変化をチェック 【目的】

5歳刻みに分けて、年代別に5年経過による変化を分析します 5年前と比較して、同年代のリスク分布の変化を分析します



■ 5歳刻み年齢階層別リスクの経年変化をチェック

【目的】

血糖、血圧、脂質のリスク別に、性年齢別に5年間リスク者の変化を分析 ※5歳加齢、同一年代比較で確認可能

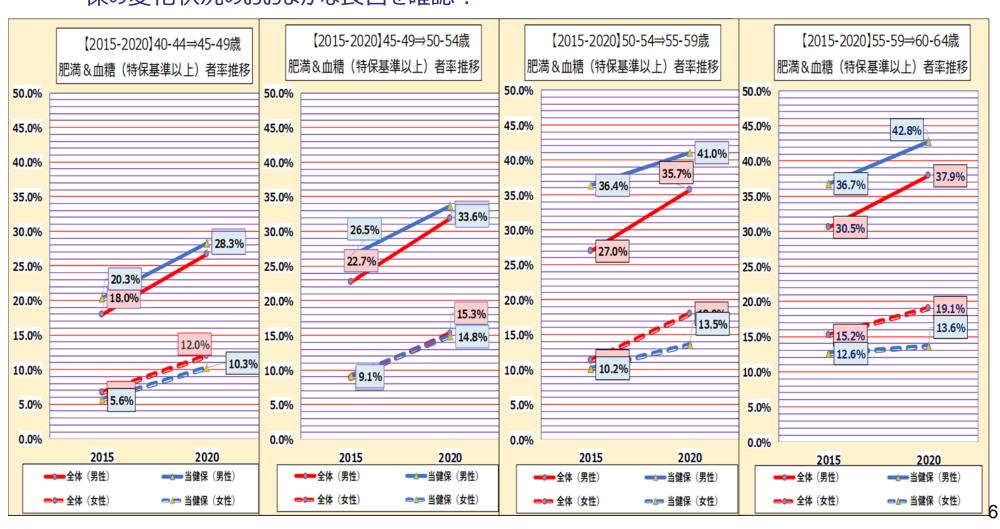
男性																			
血糖					脂質						血圧								
		2015年度		2020年度		5歳加齢		2015年度		2020年度		5歳加齢		2015年度		2020年度		5歳加齢	
	2015年度	該当者率	服薬率	該当者率	服薬率	該当者率	服薬率	該当者率	服薬率	該当者率	服薬率	該当者率	服薬率	該当者率	服薬率	該当者率	服薬率	該当者率	服薬率
	40-44歳	7.1%	3.4%	13.5%	6.0%	6.3%	2.6%	7.5%	0.8%	7.1%	2.3%	₩ -0.4%	1.6%	5.1%	2.4%	4.8%	4.3%		1.9%
非肥満	45-49歳	8.8%	7.7%	15.2%	11.5%	♠ 6.4%	1.8%	7.6%	1.7%	6.5%	2.7%		1.0%	5.7%	3.3%	5.4%	5.5%		2.1%
保健指導	50-54歳	11.5%	14.3%	18.1%	17.9%	6.6%	1 3.6%	7.6%	2.7%	6.6%	6.1%	-1.0%	1 3.4%	6.9%	5.8%	6.3%	10.3%		4.5%
	55-59歳	13.4%	20.3%	18.6%	25.7%	♠ 5.2% I	1 5.4%	7.1%	4.3%	6.7%	8.0%	₩ -0.4%	1 3.7%	7.7%	9.4%	6.7%	10.5%	→ -1.0%	1.1%
	40-44歳	0.5%	10.8%	1.0%	16.2%	7 0.5%	№ 5.4%	1.5%	1.5%	1.4%	1.5%	⊎ -0.1%	7 0.1%	3.8%	2.1%	5.6%	5.0%	1.9%	<u>2.9%</u>
非肥満	45-49歳	0.7%	10.4%	1.5%	18.8%	7 0.7%	8.3%	1.3%	0.0%	1.3%	2.0%	● 0.0%	2.0%	4.9%	3.1%	7.4%	5.4%	2.4%	2.3%
受診勧奨	50-54歳	1.5%	16.7%	2.6%	30.1%	♠ 1.1%	13.4%	1.6%	5.2%	1.5%	8.3%	⊎ -0.1%	? 3.1%	6.6%	6.0%	9.1%	9.3%	1 2.5%	n 3.3%
	55-59歳	2.4%	25.0%	3.6%	35.6%	1.2%	1 0.6%	1.6%	2.4%	1.2%	6.2%	-0.4%	1 3.8%	8.1%	7.1%	10.5%	12.3%	1 2.4%	5.2%
	40-44歳	8.8%	11.7%	21.3%	18.4%	12.6%	6.7%	13.1%	3.3%	16.3%	6.2%	3.1%	1 2.8%	6.7%	5.0%	7.8%	11.2%	1.1%	6.1%
肥満	45-49歳	11.7%	20.4%	24.6%	26.9%	12.8%	6.5%	13.7%	4.6%	16.3%	8.4%	2.6%	1 3.8%	7.9%	8.3%	8.9%	14.3%	1.1%	6.1%
保健指導	50-54歳	15.1%	27.5%	26.8%	35.8%	11.7%	8.3%	14.6%	9.2%	15.5%	11.9%	7 0.9%	1 2.8%	9.1%	13.5%	9.9%	18.6%	7 0.8%	5.1%
	55-59歳	18.3%	36.1%	28.5%	45.9%	10.2%	9.7%	14.7%	9.5%	16.2%	15.0%	1.5%	5.6%	10.7%	15.9%	10.7%	25.5%	→ 0.0% ¶	9.6%
	40-44歳	1.9%	19.8%	4.5%	32.4%	1 2.7%	12.6%	3.5%	5.5%	3.9%	7.5%	7 0.4%	n 2.0%	6.7%	3.5%	12.5%	7.7%	♠ 5.8% ₱	4.1%
肥満	45-49歳	2.8%	31.7%	6.3%	44.3%	♠ 3.5%	12.6%	3.7%	6.3%	3.8%	11.5%	7 0.1%	? 5.3%	9.0%	7.9%	14.3%	13.1%	♠ 5.3%	5.2%
受診勧奨	50-54歳	4.2%	41.2%	8.3%	51.8%	4.1%	1 0.6%	3.8%	8.2%	3.8%	14.9%	→ 0.0%	6.8%	10.7%	11.3%	15.5%	15.8%	4.8%	4.5%
	55-59歳	5.0%	51.5%	9.1%	57.9%	4.1%	6.4%	3.4%	12.9%	2.9%	19.5%	⊎ -0.5%	6.6%	11.3%	12.5%	16.9%	20.0%	♠ 5.6% ♠	? 7.5%

2021年度 全体テーマ③年齢階層別リスク5年推移分析

■5歳刻み年齢階層別経過分析の全体比較 (新規アウトプット)

【目的】

肥満+他リスク(血糖、血圧、脂質)の5年間変化の性年齢別の全体比較により自健保の変化状況のおおまかな良否を確認!



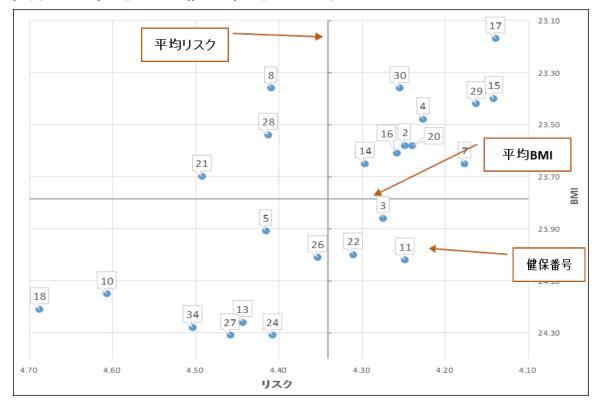
2021年度 全体テーマ④新規分析提案

■血糖/脂質/血圧リスクとBMIで散布図作成(新規提案)

【目的】

自健保のリスク状況のおおよその立ち位置を容易に把握するため。 ※男女5歳刻みで確認可能

- ・健康分布図(単年度)2020年度データより作成・横軸:リスク値、縦軸:BM
- ・リスク値は、健康分布図を作図するための血糖/脂質/血圧の階層化判定値で、 基準値内=1点、保健指導リスク=2点、受診勧奨リスク=3点とし、その合計 (3~9点)
- ・ラベルは、健保番号で表示しています
- ・基準線は、平均リスク値と平均BMIです



・皆が興味を持つ内容であることから、リスクとの相関はBMIだけではなく生活習慣で見ることや、その判断基準(スコア)等も整理していければ・・・!

		受診動器	1	8葉者
130-	139	140-		mŒ
85	89	90-		
150-	299	300-		Of Building
35	39	-34		胎質
100	125	126-		OF PER
5.6	6.4	6.5-	8	血糖
	130- 85- 150- 35- 100-	/	る基準値 保健指導 リスク 130-139 140- 85-89 90- 150-299 300- 35-39 -34 100-125 126-	JZ0 JZ0 130-139 140- 85-89 90- 150-299 300- 35-39 -34 100-125 126-

※「腹囲とBMI」「空腹時血糖とHbA1c」は どちらか一方が基準値以上であれば該当

2021年度 全体テーマ⑤コロナ影響分析

■コロナ影響(2018-2019/2019-2020)分析ツール(新規アウトプット)

【目的・機能】

コロナによる特定健診リスク対象者影響を分析する。 (男女5歳刻みで確認可能) 同時に他健保や研究会(全体・業態平均との簡易比較で自健保の特徴を確認する)



2021年度 研究会の成果①

■2021年度の成果 (A-D:4グループの成果報告要約) ■

「GW活動」において「全体テーマ(特定健診結果経年比較)」の評価や<u>事務局が提案した</u> 新たな評価支援ツール等を活用を通して課題の抽出および気づきの整理を協同でおこない、年度末に「成果報告」を発表。

Aグループ

コロナ影響分析ツールを使用した 自健保のコロナ影響説明&課題分析

- ・コロナ禍になり、多くの人々の働き方(在宅勤務、時差出勤)やライフスタイルが変化しました。また医療機関、健診(検診)の受診控えにも社会の注目を集めました。
- ・その変化 (影響) は約2年経過した現在も継続しており、既に肥満率向上など健康課題が出ており、Aグループの関心を集めたと思います。

コロナ影響分析ツールにより、業種・業態が異なる保 険者でも、比較すると、いくつかのパターンに分類され ることが分かった。

(更に深掘りすることで、何かヒントがあるのでは)

コロナ影響分析ツールにより、業種・業態が同じ保険者でも、男女の動向に違いがあることが分かった。

Bグループ

コロナ影響分析ツールを使用した 自健保のコロナ影響説明&課題分析

- ①アウトプット「コロナ影響分析」内容について
- ・各健保より報告 全体と同じ、大きく変化と様々
- ・特に女性に大きな変化あり
- →年代別で見るとまた違う結果であることも確認
- ・血圧、脂質の影響は服薬・通院をやめた影響の可能性も
- ②本年度グループワークの成果まとめに向けて (良かった点)
- ・グラフによって自健保分析、他健保比較が分かりやすくなった

「分かったこと」

健康分布図により自健保分析については一定の効果があった

「見えてきた課題」

他健保比較には一つの項目であっても性別・年齢階層等によって比較するグラフが多く、単純に比較できない

どれが、そこからどのようくらい他の健保と違う(良い/悪い)のか分からない

加齢により各項目が悪化することが分かったのに どう評価(対策検討)すればよいのか分からない

他健保比較には性別・年齢階層等により一つの項目であっても比較するグラフが多く、単純に比較できない

→「性・年齢調整」により、一つの項目で比較可能になる どれくらい他の健保と違う (良い/悪い)のか分からない

→実際の値の比較ではなく、ばらつきである 「偏差値」の観点も必要

加齢により各項目が悪化することが分かったが、そこからどのように評価(対策検討)すればよいのか分からない

→「性・年齢調整」と同じ考えで期待値を算 出し、実績値と比較し評価

2021年度 研究会の成果②

Cグループ

コロナ影響分析ツールを使用した 自健保のコロナ影響説明&課題分析

○全体/業種/他健保と比較がしやすくなり、様々な意見が出た

- ・男性の服薬率が上がったのは病院控えの影響か。
- ・元々、作業系の従業員が多いため在宅をしている人がとても少なくコロナ影響が少ないのではないか。
- ・現場の方が多く、テレワークができている人が少ないが、45~49歳の女性の脂質が特に悪化している。 通勤がなくなったことで運動習慣がなくなったことが大きな要因ではないか。
- ・服薬に関しては病院控えの影響が出ているのではと推察。大きく変化していたのは血圧のリスクのみ。
- ・2018~2019に血糖値の悪い人に通知を出す施策を行ったことで数値が改善したが、コロナの影響か数値が施策前に戻っている。業種が様々なので業種毎の見方もしてみたい。男女共に若い方の数値が悪化している。
- ・女性の脂質の値が悪くなっている。どの年代も同じような傾向で悪化している。
- ・男性はドライバーが多いからか数値に大きな変化はなかった。女性に関しては服薬、脂質に影響が出ている。
- ・男女共にコロナ影響はあるが特に女性が悪くなっている。本社や営業部門などがテレワークを実施。テレワークした人の比率が女性の方が多かったため、影響が大きかったのではないか。
- ・男性は血圧、血糖が悪化している。男女共に脂質が改善している。以前より服薬率があがったため脂質が改善したのではないか。
 - ・比較して分かったこと(自健保特徴)
 - コロナ影響によるリスク (変化)を認識できた
 - 業種(態)別に傾向が見える化された
 - コロナ変化の傾向は同じでも実態の違いが複数のグラフでわかった。
 - ・今後の課題
 - Withコロナに有効な保健事業を知りたい(働き方分析)
 - ツールを自健保用にカスタマイズしたら、別の気づきも期待できる
 - 問診項目も絡めた評価がしたい
 - 次年度は各健保の活動も絡めて評価したい

Dグループ

①Dグループ独自ツールによる牛活習慣の変化の比較

②コロナ影響分析ツールを使用した 自健保のコロナ影響説明&課題分析

- ①問診を活用し2019年度 2020年度の変化を見るツールをDグループ内で作成し比較
- ②コロナ禍における健診データへの影響は肥満・血糖などに現れた。 今後さらにコロナ影響を分析するには、例えばテレワークの影響を知るために、在宅出勤者と出社して就業している者とに分けた分析等が考えられる。



- ・コロナで勤務形態の変化や新しく保健事業を行った、強化した等、 各健保の状況も踏まえ自健保の立ち位置を確認した
- ・問診を絡めたコロナ禍の健康への影響分析の継続期待

■ 2021年度の評価 ■

良かったこと…全体テーマ・GWで様々な気付き&課題抽出⇒意見(提案など)が積極的に出され活動は充実していた 反省点……開催数が少なく、見えてきた"気付き"からの次のAction(事業改善)のデザインまではたどり着かなかった

- ■2022年度の活動・目標■
- ①開催数の大幅増、②可能な限り希望するテーマのGWへの参加を可能とすること、などにより具体的な成果に繋げたい